

最近、私達の家庭において、「正信偈」や「御文」を朝晩に勤めたり、お内仏へお仏飯を供えるといった習慣が薄らいできているようと思われます。そんな現代、無宗教を標榜する人はもちろんのこと、真宗門徒である私達でさえ、お念佛が呪文のように感じているのではないでしょうか。又、お念佛によって何か御利益を得ようとしている人も見受けられます。「今日一日無事でありますように・・・」「災難がやって来ませんように・・・」「ご先祖さん私達の事を見守ってください・・・」等、お願ひごとをする手立てとして念佛を申している人も少なくありません。

一体、お念佛とは何でしょう。真宗門徒として生きていくうとする私達にとって、重要な課題ではつきりしなければなりません。この問題について金子大栄先生は、「念佛は、自我の崩壊の音である」と教えています。自己中心的な、私達の身勝手な思いが、お念佛の教えをよく聞かせていただくことによつて碎かれていくのです。その目覚めを「崩壊の音」と表現されました。このことは、親鸞聖人がお念佛の意味を、「破無明闇」（無明の闇を破る）と教えて下さったことをもとにしています。聖人は、私達の思いや計らい（我癡・我見・我愛・我慢としてはたらく自我関心）を「暗い闇」と教えておられます。その闇は、自分の力では決して破ることのできないものだと明言されました。お念佛の教えを聞くことによつてのみ、自分の身勝手な生き方（例えば、神仏にまで自分の都合を押し付ける行為）傍若無人な任性に気づかされ、その闇が破られていくのです。我が身を照らす眞実の教えとの出会いが聖人の伝えて下さっている真宗のお念佛なのです。

(住職)

真宗のお念佛とは?

明徳寺報

第524号
2019年2月1日
真宗大谷派
木之本町黒田
発行者
秦 信映



紫雲朋の会のご案内

会員を募集しています。今、お経を読む練習をしていますが、どなたでも参加できる楽しい集いです。

皆様のご参加をお待ちしています

五日会連続講座

五村別院で、牧野豊丸師(福井教区託顧寺住職)の下記の通り講義があります。午後2時から4時まで。

第1回	3月5日(火)
第2回	4月5日(金)
第3回	6月5日(水)

年末・年始の行事報告



年末年始の行事は、皆様のおかげで滞りなく盛大に開催することができました。特にそれぞれの役員の方々の多大のご尽力をいただき感謝申し上げます。

年末の除夜の鐘撞きは、若葉会主催で40人程参加されました。特に小中学生やその保護者の方が多く、今では若者の親睦・交流の場となりつつあります。

お酒や豚汁など振る舞われくじ引きもあり、夜遅くまで楽しいつどいは続きました。

元旦の「修正会」は午前9時30分から始まり、50人ほどがお参りされました。

正信偈のお勤めの後、住職・若院・責任役員・各総代からそれぞれ年頭のあいさつをし、皆で記念写真を撮りました。互礼会ではお酒を酌み交わしながら新年をお祝いしました。

3日は他所門徒(坂口・木之本・西山地区など)の「修正会」をつとめました。12戸14人がお参りされました。11時30分より「お斎」をいただいてもらい、続いて正信偈のお勤め、その後住職・若院から新年のあいさつをし記念撮影をしました。

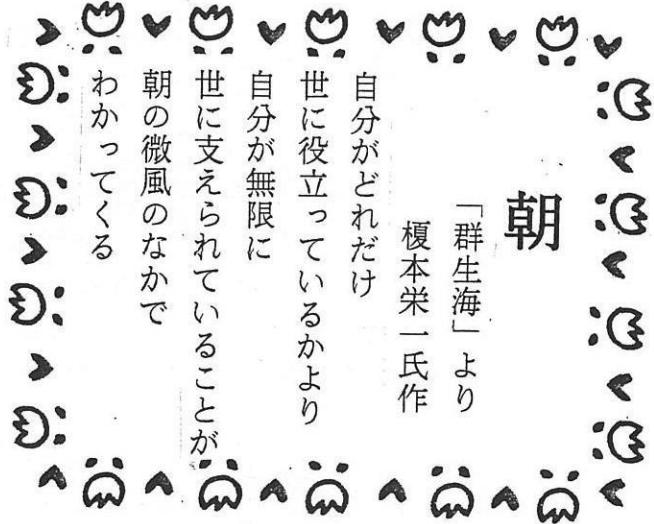
6日の日曜学校書初め大会には、小学生や中学生ら13人が参加してくれました。保護者の方や、習字の指導に門徒の方もご協力していただき、立派な作品ができました。本堂に1年間掲示しますのでお参りの時はご覧いただきたく思います。昼食には坊守がカレーライスを作ってくれ、皆で美味しくいただきました。

1月12日から13日にかけての、若葉会京都東本願寺参拝旅行は、急用のため2名の欠席者がありました。6名の会員などが参加しました。本山では、御影堂や阿弥陀堂はもちろんのこと、諸殿も拝観し、今度新しくできた和敬堂も見学しました。

20日(日)は、紫雲朋の会の新年会を開催し、6人が参加しました。丁度福岡県行橋市へ嫁いだ娘が帰省しており、2人の外孫も久しぶりに皆さんとお出会いでき、とても賑やかな懇親会になりました。

今年もあつという間にひと月が経ってしまいましたが、本年もよろしくお願い致します。行事等につきましては、毎月の寺報でお知らせしますのでご覧ください。

赦入だ場合し掲
くがっ土さきは示今
だて・い。はくして
ありい日。、だて
るよ。またに早め
うついて、ついに
お願い致しま
す。ご希望は、既に予
りであらかじめご予定が
あります。容場が



「群生海」より
榎本栄一氏作

自分がどれだけ
世に支えられていることが
自分無限に
世に役立っているかより
朝の微風のなかで
わかってくる

ミニ法話

「鬼の面 お互いかぶり 指をさす」
 「鬼は外 私の都合が 豆をまく」



2月3日は「節分」で、「鬼は外 福は内」と豆をまく光景があちらこちらで見受けられます。しかし鬼とは何のことでしょうか。もし、自分にとって思い通りにならないことや、都合の悪い事柄を鬼とし、逆に都合の良い事柄などを福とするならば、いったい鬼はどこにいるのでしょうか。

不都合等の事柄を鬼とするならば、その不都合と感じる心を鬼としている心こそが鬼ではないでしょうか。

自分の思いや計らい都合を絶対化・正当化し、どこまでも外に福を求め、鬼を見いだす限り、鬼から解放されることはありません。自分が鬼であったと自覚に立ったときこそ、鬼から解放される道が開かれるのです。

(住職)

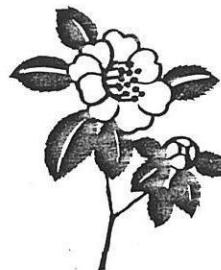
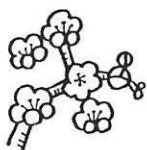
春季永代經

**日時 3月16日（土）
午前10時・午後1時**

法話 堀澤俊行先生（米原市上野・念願寺住職）

お講当番は4組です

★念珠・門徒輪袈裟持参ください。



午前10時 勤行—伽陀・仏説阿弥陀經・正信偈同朋奉讚・御文

(経中隨時お焼香をお願いします)

10時45分—法話2席(途中休憩有) 正午—御講

午後1時 勤行—伽陀・仏説阿弥陀經・正信偈同朋奉讚・御文

1時45分—法話2席(途中休憩有) 3時過ぎ散会

**合
同
會**

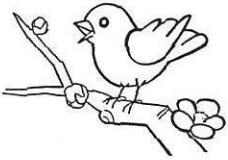
明徳寺合同會議を開催します。3月24日（日）開催予定の門徒定期総会に向けての事前協議です。本年度事業の総括並びに新年度の事業計画など審議していただきますが、報恩講の有り方や「御講」についてもご相談します。皆様からのご意見などあれば役員の方へお伝えください。

開催日時：2月23日（土）午後7時30分より

会場：明徳寺本堂



2月の行事



3 日	AM 8:00	日曜学校	
5 木	P.M 7:30	女性のつどい	
10 日	A.M 8:00	日曜学校	
14 木	A.M 10:00	前川駒馬信成流朝令日	
	P.M 2:00	Ao畠山洞サガ」練習	
17 日	AM 8:00	日曜学校	
23 日	P.M 7:30	合月役員会	責任役員・統括 世話多文化用件長
24 日	A.M 8:00	日曜学校	
	P.M 7:30	紫雲朋の会	
28 木	A.M 10:00	親愛聖人御命日のつどい	
	P.M 2:00	雅樂の練習	

門徒定期総会

3月24日(日)午後7時より於本堂